くらしカレンダー&お慶び寄付

健　診

※場所：一の宮保健センター（☎ 22-5088）
※対象者には個別に通知しています。

- ●8月　2日㊋　7～8カ月児健診
- ●8月　9日㊋　4カ月児健診
- ●8月　9日㊋　もうすぐ1歳健診
- ●8月23日㊋　3歳児健診
- ●8月30日㊋　1歳6カ月児健診

在宅医

※診療時間：午前9時～午後5時
※受診の際は必ず保険証をご持参ください。

- ●8月　7日㊐　古閑医院　☎ 22-3000
- ●8月11日㊍　小野主生医院　☎ 32-0039
- ●8月14日㊐　たくもと小児科クリニック　☎ 34-2202
- ●8月21日㊐　大阿蘇病院　☎ 22-2111
- ●8月28日㊐　阿蘇温泉病院　☎ 32-0881
- ●9月　4日㊐　市原胃腸科外科　☎ 34-1211

子育て

のんびり広場（波野保育園内☎ 24-2800）

- ●8月　3日㊌　水遊び・プール遊び
- ●8月10日㊌　水遊び・プール遊び
- ●8月17日㊌　簡単野菜クッキング　要予約
- ●8月24日㊌　散歩に行こう計測日・誕生会
- ●8月31日㊌　シャボン玉で遊ぼう

すくすく広場（一の宮子育て支援センター☎ 22-4539）

- ●8月　2日㊋　人形劇観劇会
- ●8月　4日㊍　プール遊び
- ●8月　9日㊋　絵具遊び
- ●8月12日㊎　どろんこ遊び
- ●8月16日㊋　うちわ作り
- ●8月18日㊍　ピザ作り　要予約
- ●8月23日㊋　プール遊び
- ●8月26日㊎　わいわい子育て相談会
- ●8月30日㊋　誕生会・計測日
- ●9月　1日㊍　プール納め

ぴよぴよ広場（阿蘇市子育て支援センター☎ 32-3843）

- ●8月　3日㊌　計測日・おみこし作り
- ●8月10日㊌　ぴよぴよ夏祭り
- ●8月17日㊌　ﾎﾞﾃﾞｨﾍﾟｲﾝﾃｨﾝｸﾞ・お話会
- ●8月24日㊌　誕生会・お好み焼きﾊﾟｰﾃｨｰ・お化け屋敷　要予約
- ●8月31日㊌　親子触れ合い体操
- ●9月　5日㊊　作って遊ぼう（運動会準備）

催　し

- ●8月　7日㊐　中江岩戸神楽定期公演（中江神楽殿、13:00～）
- ●8月15日㊊　なみの高原納涼まつり（道の駅「波野」神楽苑、17:00～）
- ●8月20日㊏　阿蘇市民復興まつり（内牧商店街周辺、15:00～）

献　血

- ●8月18日㊍　阿蘇市役所（10:00～12:00／13:15～16:00）

相　談

心配ごと相談

●8月4日㊍・18日㊍　9:30～12:00　阿蘇保健福祉センター
問阿蘇市地域包括支援センター　☎ 32-5122

法律相談（消費問題・不動産・土地・建物等に関すること）要予約

●8月4日㊍　9:30～12:00　阿蘇保健福祉センター
問阿蘇市地域包括支援センター　☎ 32-5122

年金出張相談（国民年金・厚生年金）要予約

●8月15日㊊・9月5日㊊　一の宮保健センター
●8月8日㊊・22日㊊　農村環境改善センター
※時間はいずれも10:00～15:00
問熊本東年金事務所　☎ 096-367-2503

消費生活相談

●8月17日㊌・9月7日㊌　10:00～15:00　内牧支所
問阿蘇市生活相談センター　☎ 22-3364

認知症カフェ（相談や悩みを語り合える憩いの場）

●8月17日㊌ 10:00～16:00　阿蘇保健福祉センター
●8月18日㊍ 10:00～16:00　一の宮高齢者センター
問阿蘇市地域包括支援センター　☎ 32-5122

障がい者相談（就業・生活）

●8月16日㊋　10:00～12:00　阿蘇市役所
問市役所福祉課　☎ 22-3167

登記相談（売買・贈与・相続等）要予約

●8月18日㊍　10:30～15:00　阿蘇市役所
問熊本地方法務局阿蘇大津支局　☎ 096-293-2272

あそ若者就労相談会（隔週月曜日）

●8月8日・22日　10:00～16:00　ハローワーク阿蘇
問たまな若者ｻﾎﾟｰﾄｽﾃｰｼｮﾝ ☎ 0968-74-0007

米寿

（昭和３年７月生まれ）

氏名（行政区）		氏名（行政区）	
蒲池 幸人	(古神3区)	廣瀬 與市	(原の口)
家入 利夫	(分２区)	村上 ノブ子	(下役犬原)
志賀 タケ子	(古城2区)	渡邉 アイ子	(西町)
園田 政光	(西下原)	今村 逸雄	(南黒川)
坂ノ上 フクヨ	(小里)	森 咲子	(南黒川)
森 ミエ子	(宇土)	山本 三三	(乙姫)

寄付

（6月30日受付分まで）

【阿蘇市社会福祉協議会（香典返し）】

寄付者	続柄	物故者	（行政区）
小代 輝義	亡母	ハツミ	(西３区)
市原 俊一	亡母	ミエ子	(神石)
藤岡 ツヤ子	亡夫	昭福	(古城4区)
井田 政徳	亡父	繁利	(古城4区)
伊藤 妙子	亡夫	晨二	(内牧5区)
下城 セツ	亡夫	久男	(西湯浦)
佐藤 京子	亡夫	明森	(竹原)
山口 浩憲	亡母	カツ子	(永草)
種子野 榮子	亡夫	昇	(枳)
首藤 利哉	亡妻	一子	(笹倉)

結婚

（6月30日受付分まで）

氏名			行政区
工藤 真生	・	原田 文子	(分１区)
山﨑 翔	・	今村 優華	(分２区)
浅川 拓哉	・	新飼 真里恵	(内牧２区)
吉村 嘉英	・	坂本 奈未	(折戸)
宮本 亮平	・	山本 幸江	(元黒川)
高日 哲也	・	本田 ももこ	(坂の上)

赤ちゃん

（6月30日受付分まで）

赤ちゃん	誕生日	パパ・ママ	（行政区）
河村 怜依(れい)ちゃん	5月24日	佳晃・章子	(東２区)
山内 悠申(ゆうしん)くん	5月25日	利公・理恵	(的石)
三井 優(ゆう)ちゃん	5月28日	悟・麻美	(内牧1区)
髙木 優多(うた)くん	5月30日	誠也・亜紗美	(西小園)
森本 彩蓮(あれん)くん	6月6日	伸夫・美紀	(西井手)
山部 柚紀(ゆずき)ちゃん	6月7日	亮太・麻美	(内牧2区)
柚上 流星(るい)くん	6月8日	隆之助・梢	(馬場)
福島 なずなちゃん	6月9日	徳士・ちあき	(車帰)
辻 峻矢(しゅんや)くん	6月9日	敏章・加奈子	(古神3区)
岩下 愛癒(ちかい)ちゃん	6月10日	雄志・里美	(立塚)
藤山 月空(るうあ)くん	6月10日	貴大・加苗	(古神3区)
髙木 凛(りん)ちゃん	6月11日	仁・愛由美	(古神3区)
古庄 心音(ここね)ちゃん	6月13日	雅貴・美貴	(赤水)
柴田 陽花(はるか)ちゃん	6月13日	裕介・愛	(内牧4区)
髙橋 想生(そな)くん	6月14日	塁・樹里	(内牧2区)
今溝 桃杏花(りあな)ちゃん	6月14日	智文・三春	(分１区)
今溝 恋楓結(れふあ)ちゃん	6月14日		
井原 由葵(ゆき)ちゃん	6月15日	雅之・沙耶香	(北１区)
江藤 晴葵(はるき)くん	6月22日	慶将・栞	(北黒川)
井 虎冴(たいが)くん	6月23日	優成・静香	(西町)
橋本 夏希(なつき)ちゃん	6月26日	賢也・ひろみ	(黒流町)
岩本 最愛(もあ)ちゃん	6月26日	大介・あずさ	(桜町)
中村 莉凰(りお)ちゃん	6月27日	剛・美紀	(上町)
城戸 珀龍(はくと)くん	6月29日	健太・冴里	(乙姫)
牧 颯太朗(そうたろう)くん	6月29日	久光・久美子	(内牧2区)
川上 月彩(るあ)ちゃん	6月29日	龍馬・里沙	(北２区)
川上 結道(ゆいと)くん	6月29日		

人の動き

（2016年6月30日時点）

	人口	（男性）	（女性）	世帯
人数・世帯数	27,385人	12,969人	14,416人	11,409世帯
前月比	29人減	20人減	9人減	19世帯増

出生	死亡	転入	転出
26人	37人	85人	117人

※本ページ内の氏名は敬称を省略させていただいています。また、各情報は希望者のみ掲載しています。

第14回

田空わがまち自慢
車帰地区

大切なのは人との繋がり
“もやいの精神”でどんな災害も乗り越えられる―。

今回話を伺った車帰地区の皆さん

平成28年熊本地震から3カ月が経とうとしている今、その報道は日々減少し、静かに人々の記憶から忘れ去られていこうとしているように感じます。
しかし、阿蘇市にも、甚大な被害を受けた場所があり、壮絶な体験をした人たちがいます。
今回は地域の女性特集として、車帰地区の皆さまの体験をご紹介します。いち早く私たちが復興する手段として、たくさんの方々に当時の体験をお伝えできればと思います。

●あなたの地域の「サテライト」募集中！

皆さまの地域にある歴史や由緒ある場所、残しておきたい大切なもの、伝統、文化などをサテライトに登録しませんか？お問い合わせは、ＡＳＯ田園空間博物事務局（☎ 35-5077）までお願いします。

6月下旬、車帰地区の女性たちと会う約束をして、車帰公民館へ向かいました。そこにはいつも通りの明るい女性たちの笑顔があり、温かく迎えていただきました。この時までは、この車帰地区の方たちが一体どんな体験をしたのか、知る由もありませんでした。

本震直後、地区住民が皆、車帰公民館に集まりました。60戸あるこの地区で、そのうち13戸は全壊、このとき家の下敷きになっている人もいましたが、車帰の男性、そして地元消防団がすぐに助けに行き、大きなけが人は1人も出なかったそうです。それをきっかけに女性たちも立ち上がり、本震当日の朝食からみんなで食材を持ち寄り、炊き出しを始めました。

明るくなってから周囲の状況を確認に行くと、なんと車帰周辺の道路が全て破損しており、この地区だけ孤立していることが分かったのです。これでは支援物資などいつ来るか分からない、とにかくみんなの食事だけはどうにか確保しなければならない。この緊迫した状況で、壊れた家にも入り、ありったけの食料を地区から集め、支援物資が届いた後も合わせて2週間、朝、昼、晩の炊き出しを続けたそうです。自分の家のことは後回しで、「全壊しているところが最優先！」と、業者には頼まず地区住民だけで解体作業やガレキを片付けました。

子どもから大人まで同じ屋根の下での共同生活。夜になると「はい！もう遅いけん寝るよ！」と大人たちが声掛けし、みんなで就寝、翌朝起きたらみんなでごはんを食べる。出かけるときは公民館から「行ってきます！」、帰ってきたら「ただいま！」。まるで地区の全員が大きな家族のようです。今まで交流のなかった幼稚園児と高校生が交流することもあり、「貴重な経験になったね」と振り返っていらっしゃいました。

震災時、公民館での炊き出しの様子

しかしなぜ、こんなにもこの地区の住民は団結力があり、家族のようなのでしょうか？昔から農業の盛んだったこの地域では、「自分ちの畑、田んぼ」という概念がなく、「今日はお隣さんちの畑を皆で耕して、明日はうちの畑を皆で耕す」といった風に、地区全員で農業を行っていたそうです。この習慣が今の人たちにも伝承されているようです。

「この地域の団結力の強さを子どもたちにも伝えていきたいね」と、自分たちが頑張ったことは言わず「消防団の人たちが1番に動いてくれたのよ」と他の人たちの頑張りを伝えてほしいという女性たち。全員が口を揃えて「地震のあと、改めて、この地域に住んでいて良かった！と思った」と話していました。

こんなに大変な経験をしても、むしろ「良かった」と言える皆さんの強さ、前向きさ、それこそがこの地域を支えている源だと感じました。

みんなが大変な中で人を思いやり、人のために動く人たち。この『もやいの精神』、チームワークがあればどんな災害だって乗り越えられる。一番大切なのはやはり、人と人の繋がりなんだと、改めて教えていただいた出来事でした。

この車帰地区には、地区住民がみんなで守り、生活用水として活用してきた水源や、参勤交代で使用された石畳など、歴史と自然と人の繋がりを感じることのできる場所が点在しています。

このような後世に残すべき地域の宝をＡＳＯ田園空間博物館は地域の方たちとともに守っていきたいと考えています。

【今回話を伺った車帰地区の皆さん】
（26ページ写真左から）
中村久美子さん、舘木シゲさん、藤田幸代さん、中村貴代美さん、松村一美さん、田口春美さん、坂口きみ子さん、岩村悦子さん、宮本素子さん